

2019年11月18日付  
日刊建設産業新聞

## 施工技術発表会を開催

大林区  
災害対策関連など17編発表

大林道路は14日、東京・千代田区の本店で全支店をスカイプで結び「第29回施工技術発表会」を開催した。II写真。本店には約120人が集まり、各支店の若手職員15人も参加した。新技術、特殊舗装、災害対策・復旧について全支店（北海道、東北、関東、中部、大阪、中国、九州、四国）から寄せられた33編の報文を事前審査し選定、新技術関連6編、特殊舗装関連6編、災害対策関連5編の計17編の発表を行った。



冒頭、挨拶にたった福本勝司社長は「当社が成長を続けるためには、既成概念にとらわれない自由な発想と、いろいろなことに疑問を持って考えることが大事。現場で発生する疑問を見逃さず、納得するまで突き詰めてほしい。役員、社員、特に若手が、おもしろいことにチャレンジし、日頃から言っている『責任』『信念』『執念』の3Sを実践して技術力を向上していただきたい。この発表会がみなさんのスキルアップに結び付く有意義な時間となることを期待する」と述べた。

発表のあと審査を行い、金賞1編、銀賞2編、銅賞3編、特別賞1編を表彰した。また、当日は福本社長が特別講演を行った。

同発表会は「おもしろい

ことにチャレンジ」をテーマに、現場で工夫された施工技術の水平展開と社員のプレゼン力向上を目的としている。毎年開催し29回目となる今回は、災害復旧に関する報文が多かったのが特徴。また地方からの報文の応募も多くなり、バランスがよくなってきたという。